

# 数学C

## ベクトル、平面上の曲線、複素数平面

### — 目 次 —

#### ベクトル

<b>1 ベクトルとその表し方</b>	4
□ Q1 基本 ベクトルの定義	
□ Q2 基本 ベクトルの大きさ	
<b>2 ベクトルの加法と減法</b>	8
□ Q1 基本 ベクトルの加法	
□ Q2 基本 ベクトルの減法	
<b>3 ベクトルの演算</b>	12
□ Q1 基本 ベクトルの実数倍	
□ Q2 基本 ベクトルの計算法則	
<b>4 ベクトルの平行、分解</b>	16
□ Q1 基本 ベクトルの平行	
□ Q2 重要 ベクトルの分解	
<b>5 ベクトルの成分表示</b>	20
□ Q1 基本 ベクトルの成分表示	
□ Q2 基本 ベクトルの和、差、実数倍の成分表示	
<b>6 成分表示とベクトルの平行、分解</b>	24
□ Q1 基本 成分で表されたベクトルの分解	
□ Q2 基本 成分で表されたベクトルの平行	
<b>7 座標平面上の点とベクトル</b>	28
□ Q1 基本 2点 A, B とベクトル $\vec{AB}$	
□ Q2 重要 平行四辺形の頂点の座標	
<b>8 ベクトルの内積</b>	32
□ Q1 基本 ベクトルの内積の定義	
□ Q2 基本 ベクトルの内積	
<b>9 成分表示による内積</b>	36
□ Q1 基本 成分による内積の表示	
□ Q2 基本 ベクトルのなす角	
<b>10 ベクトルの垂直条件</b>	40
□ Q1 基本 ベクトルの垂直条件	
□ Q2 基本 1つのベクトルに垂直なベクトル	
<b>11 内積の性質</b>	44
□ Q1 重要 内積の性質	
□ Q2 重要 内積の性質の利用	
<b>テスト① ベクトル</b>	48
(1~11)のまとめ	
<b>12 位置ベクトル</b>	52
□ Q1 基本 位置ベクトル	
□ Q2 重要 三角形の重心の位置ベクトル	
<b>13 ベクトルと平面图形</b>	56
□ Q1 重要 交点の位置ベクトル	
□ Q2 重要 等式を満たす点の位置	
<b>14 内積と平面图形</b>	62
□ Q1 重要 内積と三角形の面積	
□ Q2 重要 内積を利用した图形の証明	
<b>15 直線のベクトル方程式</b>	66
□ Q1 基本 あるベクトルに平行な直線	
□ Q2 基本 2点を通る直線	
<b>16 ベクトル方程式の応用</b>	70
□ Q1 重要 ベクトルの等式を満たす点の存在範囲	
□ Q2 重要 あるベクトルに垂直な直線の方程式	

<b>17 ベクトル方程式の表す图形</b>	74
□ Q1 重要 円のベクトル方程式	
□ Q2 应用 内積の方程式で表された图形	
<b>テスト② ベクトルと平面图形</b>	78
(12~17)のまとめ	
<b>18 空間座標①</b>	82
□ Q1 基本 空間座標	
□ Q2 基本 2点間の距離	
<b>19 空間座標②</b>	86
□ Q1 基本 座標平面・座標軸に関して対称な点	
□ Q2 基本 平面の方程式	
<b>20 空間のベクトル</b>	90
□ Q1 基本 空間のベクトル	
□ Q2 基本 空間ベクトルの分解	
<b>21 空間ベクトルの成分</b>	94
□ Q1 基本 空間ベクトルの成分表示	
□ Q2 基本 空間ベクトルの大きさ	
<b>22 空間ベクトルの成分による計算</b>	98
□ Q1 基本 ベクトルの和・差・実数倍	
□ Q2 基本 2点 A, B とベクトル $\vec{AB}$	
<b>23 空間ベクトルの平行、分解</b>	102
□ Q1 重要 空間ベクトルの平行	
□ Q2 重要 空間ベクトルの分解	
<b>24 空間ベクトルの内積</b>	106
□ Q1 基本 空間ベクトルの内積	
□ Q2 重要 空間ベクトルの垂直条件	
<b>25 空間の位置ベクトル</b>	110
□ Q1 基本 内分点・外分点の位置ベクトル	
□ Q2 重要 4点が同一平面上にある条件	
<b>26 空間ベクトルの内積の応用</b>	116
□ Q1 基本 垂線との交点	
□ Q2 重要 三角形の面積	
<b>27 球面の方程式</b>	120
□ Q1 基本 球面の方程式	
□ Q2 重要 球面と平面が交わってできる円	
<b>テスト③ 空間ベクトル</b>	124
(18~27)のまとめ	
<b>テスト④ ベクトル</b>	128
(1~27)のまとめ	
チャレンジテスト ベクトル	132

## 平面上の曲線

<b>1 放物線</b>	136
□Q1 基本 放物線の方程式	
□Q2 基本 $y$ 軸上に焦点をもつ放物線	
<b>2 楕円</b>	140
□Q1 基本 楕円の方程式	
□Q2 基本 $y$ 軸上に焦点をもつ楕円	
<b>3 円と楕円</b>	144
□Q1 基本 円と楕円	
□Q2 応用 軌跡と楕円	
<b>4 双曲線</b>	148
□Q1 基本 双曲線の方程式	
□Q2 基本 双曲線と漸近線	
<b>5 直角双曲線</b>	152
□Q1 基本 $y$ 軸上に焦点をもつ双曲線	
□Q2 基本 直角双曲線	
<b>6 2次曲線の平行移動</b>	156
□Q1 基本 曲線の平行移動	
□Q2 基本 2次方程式が表す图形	
<b>7 2次曲線と直線</b>	160
□Q 重要 2次曲線と直線の共有点	
<b>8 離心率と準線</b>	164
□Q 応用 2次曲線と離心率	
<b>テスト① 2次曲線</b>	168
(1~8のまとめ)	
<b>9 媒介変数表示</b>	172
□Q1 基本 媒介変数表示	
□Q2 基本 放物線の頂点の軌跡	
<b>10 一般角 <math>\theta</math> による媒介変数表示</b>	176
□Q1 基本 一般角 $\theta$ による媒介変数表示	
□Q2 基本 2次曲線の媒介変数表示	
<b>11 極座標</b>	180
□Q1 基本 極座標	
□Q2 基本 極座標と直交座標	
<b>12 極方程式①</b>	184
□Q1 基本 極方程式が表す曲線	
□Q2 基本 直線の極方程式	
<b>13 極方程式②</b>	188
□Q1 重要 極方程式と直交座標の関係	
□Q2 重要 直交座標と極方程式の関係	
<b>テスト② 媒介変数と極座標</b>	192
(9~13のまとめ)	
<b>チャレンジテスト 平面上の曲線</b>	196

## 複素数平面

<b>1 複素数平面</b>	200
□Q1 基本 複素数／複素数平面	
□Q2 基本 共役な複素数	
<b>2 複素数の絶対値、複素数の実数倍</b>	204
□Q1 基本 複素数の絶対値／絶対値と共に複素数との関係	
□Q2 基本 複素数の実数倍	
<b>3 複素数の和と差</b>	208
□Q1 基本 複素数の和と差	
□Q2 基本 2点間の距離	
<b>4 複素数の極形式</b>	212
□Q1 基本 複素数の極形式	
□Q2 重要 複素数を極形式で表す	
<b>5 複素数の積と商</b>	216
□Q 基本 複素数の積と商	
<b>6 複素数の積の図形的な意味</b>	220
□Q1 基本 複素数の積と原点を中心とする回転	
□Q2 応用 複素数の積の図形的な意味	
<b>7 ド・モアブルの定理</b>	224
□Q 重要 ド・モアブルの定理	
<b>8 複素数の <math>n</math> 乗根</b>	228
□Q 重要 $z^n = \alpha$ の解	
<b>テスト① 複素数平面</b>	232
(1~8のまとめ)	
<b>9 平面图形と複素数</b>	236
□Q1 基本 内分点・外分点	
□Q2 基本 複素数と角	
<b>10 3点の位置関係</b>	240
□Q 基本 3点の位置関係	
<b>11 等式の表す图形①</b>	244
□Q1 基本 垂直二等分線	
□Q2 基本 円	
<b>12 等式の表す图形②</b>	248
□Q1 重要 動点の描く图形	
□Q2 応用 アポロニウスの円	
<b>テスト② 平面图形と複素数</b>	252
(9~12のまとめ)	
<b>チャレンジテスト 複素数平面</b>	256
<b>公式集</b>	260